

**聖餐式** 2021. 3. 14 大齋節第 4 主日

特 禱 大齋節第 4 主日 特禱

旧約聖書 歴代誌下 36:14-23

日課詩篇 第 122 篇

使徒書 エフェソの信徒への手紙 2:4-10

福音書 ヨハネによる福音書 6:4-15

## 大齋節第 4 主日特禱

恵み深い父なる神よ、み子はすべての人のまことの命のパンとなるために、天からこの世に降られました。どうか命のパンによってわたしたちを養い、常に主がわたしたちのうちに生き、わたしたちが主のうちに生きられるようにしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

## 旧約聖書 歴代誌下 36:14-23

祭司長たちのすべても民と共に諸国の民のあらゆる忌むべき行いに倣って罪に罪を重ね、主が聖別されたエルサレムの神殿を汚した。先祖の神、主は御自分の民と御住まいを憐れみ、繰り返し御使いを彼らに遣わされたが、彼らは神の御使いを嘲笑い、その言葉を蔑み、預言者を愚弄した。それゆえ、ついにその民に向かって主の怒りが燃え上がり、もはや手の施しようがなくなった。主はカルデア人の王を彼らに向かって攻め上らせられた。彼は若者たちを聖所の中で剣にかけて殺し、若者のみならず、おとめも、白髪の老人も容赦しなかった。主はすべての者を彼の手に渡された。彼は神殿の大小の祭具のすべて、主の神殿の宝物も、王とその高官たちの宝物も残らずバビロンに持ち去った。神殿には火が放たれ、エルサレムの城壁は崩され、宮殿はすべて灰燼に帰し、貴重な品々はことごとく破壊された。剣を免れて生き残った者は捕らえられ、バビロンに連れ去られた。彼らはペルシアの王国に覇権が移るまで、バビロンの王とその王子たちの僕となった。こうして主がエレミヤの口を通して告げられた言葉が実現し、この地はついに安息を取り戻した。その荒廃の全期間を通じて地は安息を得、七十年の年月が満ちた。ペルシアの王キュロスの第一年のことである。主はかつてエレミヤの口を通して約束されたことを成就するため、ペルシアの王キュロスの心を動かされた。キュロスは文書にも記して、国中に次のような布告を行き渡らせた。「ペルシアの王キュロスはこう言う。天にいます神、主は、地上のすべての国をわたしに賜った。この主がユダのエルサレムに御自分の神殿を建てることをわたしに命じられた。あなたたちの中で主の民に属する者はだれでも、上って行くがよい。神なる主がその者と共にいてくださるように。」

## 日課詩篇 第 122 篇

- 1 「神の家に行こう」と言われて // わたしの心は喜びにはずんだ
- 2 エルサレムよ、わたしたちは、今 // あなたの門のうちに立っている
- 3 しげく連なる町、エルサレム // すべての民の都
- 4 そこにはイスラエルの部族、神の民が上って来る // 主のみ名に感謝を献げるのはイスラエルのおきて
- 5 そこには審きの座 // ダビデの家の座が据えられている
- 6 エルサレムのために平和を祈ろう // 「エルサレムを愛する者に栄光
- 7 その城壁のうちに // その宮殿のうちに平和があるように」
- 8 わたしの兄弟、わたしの友のために祈ろう // 「エルサレムに平和があるように」
- 9 わたしたちの神、主の住まいのゆえに // エルサレムの上に恵みを祈ろう

### 使徒書 エフェソの信徒への手紙 2:4-10

しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してくださり、その愛によって、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、——あなたがたの救われたのは恵みによるのです——キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。こうして、神は、キリスト・イエスにおいてわたしたちにお示しになった慈しみにより、その限りなく豊かな恵みを、来るべき世に現そうとされたのです。事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。それは、だれも誇ることがないためなのです。なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです。

### 福音書 ヨハネによる福音書 6:4-15

ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。イエスは目を上げ、大勢の群衆が御自分の方へ来るのを見て、フィリポに、「この人たちに食べさせるには、どこでパンを買えばよいだろうか」と言われたが、こう言ったのはフィリポを試みるためであって、御自分では何をしようとしているか知っておられたのである。フィリポは、「めいめいが少しずつ食べるためにも、二百デナリオン分のパンでは足りないでしょう」と答えた。弟子の一人で、シモン・ペトロの兄弟アンデレが、イエスに言った。「ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。」イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。そこには草がたくさん生えていた。男たちはそこに座ったが、その数はおよそ五千人であった。さて、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、座っている人々に分け与えられた。また、魚も同じようにして、欲しいだけ分け与えられた。人々が満腹したとき、イエスは弟子たちに、「少しも無駄にならないように、残ったパンの屑を集めなさい」と言われた。集めると、人々が五つの大麦パンを食べて、なお残ったパンの屑で、十二の籠がいっぱいになった。そこで、人々はイエスのなさったしるしを見て、「まさにこの人こそ、世に来られる預言者である」と言った。イエスは、人々が来て、

自分を王にするために連れて行こうとしているのを知り、ひとりでまた山に退かれた。

## 代禱

- 新型コロナウイルス感染症に苦しむ人々のため、またその一日も早い収束のため  
＜東京教区＞
- 3月の信施奉獻先 いのちの電話の働きのため  
＜東京聖三一教会＞
- オルターギルド・フラワーギルド・アッシャーのため
- 週報・事務担当のため
- 病床にある方々のため

## 聖歌

375, 508

